

第2号様式 (第17条関係)

禁止行為の解除承認申請書

① 年 月 日

大島町消防本部
消防長 殿

② 申請者
住 所
電 話 ()
氏 名

火災予防条例第30条の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

記

防 火 対 象 物	所 在 地	③
	名 称	④
⑤ 解除の承認 を受けよう とする場所 (指定場所 の用途)	<input type="checkbox"/> 劇場等	<input type="checkbox"/> 地下街
	<input type="checkbox"/> 飲食店等	<input type="checkbox"/> 重要文化財等
	<input type="checkbox"/> 百貨店等	<input type="checkbox"/> 車両の停車場及び船舶・航空機の 発着場
	<input type="checkbox"/> 屋内展示場	<input type="checkbox"/> ホテル等
	<input type="checkbox"/> 映画スタジオ及びテレビスタジオ	
解除の承認 を受けよう とする行為	⑥期 間	年 月 日から 年 月 日まで
	⑦ 種 類	⑧ 内 容
	<input type="checkbox"/> 喫 煙	
	<input type="checkbox"/> 裸火使用	
	<input type="checkbox"/> 危険物品持込み	
※ 受 付 欄		※ 処 理 欄

- 備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
2 内容欄には、裸火使用については機器名、熱源、最大消費熱量、火炎の大きさ等を、危険物品持込みについては品名、成分、数量等をそれぞれ記入すること。
3 解除の承認を受けようとする場所の平面図のほか、必要な図書を添付すること。
4 ※欄には、記入しないこと。

【記入要領】

- ① 申請書を提出する年月日を記入します。
- ② 行おうとする禁止行為に関して責任が明確な者（建物の所有者・防火管理者、イベント主催者等）の、住所、氏名、電話番号を記入します。法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名・電話番号を記入します。また、余白に連絡先の電話番号を記入してください。
- ③ 禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所在地を記入します。
- ④ 防火対象物（建物）の名称を記入します。（例：〇〇ビル、〇〇劇場）
- ⑤ 指定場所の用途について、該当する用途の□内にレ印を記入します。
- ⑥ 解除承認を必要とする期間を記入します。なお、承認期間の最長は恒常的な解除承認の場合で、承認日から10年間です。
- ⑦ 解除承認を受けようとする禁止行為について、該当する種類の□内にレ印を記入します。
- ⑧ 解除承認を受けようとする行為の内容を具体的に記入します。なお、内容が複雑なものは別紙等に記入し添付します。

【裸火使用記載例】

- ・ガスフライヤー〇〇kw、ガスレンジ〇〇kw、計〇〇kw
- ・ミニフレーマー 火炎の幅〇〇cm、長さ〇〇cm 燃料〇〇 消費量〇〇ml

【危険物品持込み記載例】

- ・天ぷら油（動植物油類） 〇〇L
- ・カセットボンベ（液化ブタン） 容器の許容充填ガス質量〇〇kg